



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 インタートレード

コード番号 3747 URL <http://www.itrade.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 尾崎 孝博

問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員

(氏名) 丸山 與一

TEL 03-3537-7450

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	772	△2.0	△46	—	△44	—	1	△93.7
23年9月期第1四半期	788	△12.7	0	—	3	—	21	—

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 △0百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 20百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	18.62	—
23年9月期第1四半期	302.76	298.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	4,182	2,341	56.0
23年9月期	3,578	2,341	65.4

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 2,341百万円 23年9月期 2,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	0.00	—	300.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,680	△9.1	△125	—	△130	—	△132	—	△1,837.24
通期	3,480	4.3	150	216.2	150	125.9	140	△18.9	1,948.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社レーデクス、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年9月期1Q	74,439 株	23年9月期	74,439 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年9月期1Q	2,592 株	23年9月期	2,592 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	71,847 株	23年9月期1Q	69,539 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(3) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画、主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成24年2月15日(水)・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム等の開発及び保守を主力事業としており、併せて投資顧問事業、自己資金運用事業等を行っております。

当第1四半期連結累計期間（以下、当第1四半期）においては、国内取引所における株式売買代金が低迷を続けるなど証券業の事業環境は依然として厳しく、証券会社を主力顧客とする当社は、収支管理の強化と顧客層多様化の双方が課題となりました。

当第1四半期の当社連結経営成績は以下の表のとおりです。

	平成23年9月期 (前第1四半期)		平成24年9月期 (当第1四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	788	100.0	772	100.0	98.0
営業利益又は 営業損失(△)	0	0.0	△46	—	—
四半期純利益	21	2.7	1	0.2	6.4

証券ソリューション事業は前年同期とほぼ同様の実績となった一方、投資顧問事業は前連結会計年度に発生した付加価値情報提供サービスの解約等の影響で前年同期を売上、利益ともに下回る実績となりました。また、自己資金運用事業等は先行投資の要素が強く、セグメント損失を計上しました。

結果として46百万円の連結営業損失となり前年同期を46百万円下回りました。

当第1四半期の受注高は以下の表のとおりです。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)
証券ソリューション事業		
パッケージ売上	57	152.5
システムインテグレーション売上	8	5.7
ライセンスビジネス売上	18	31.3
カスタマーサポート売上	90	121.7
合計	175	54.6

損益の先行指標となる受注高は175百万円であり、前年同期比54.6%となりました。利益率が高いパッケージ売上の受注が増加した一方で、システムインテグレーション売上及びライセンスビジネス売上の受注高が前年同期を下回りました。

パッケージ売上受注高の増加は、米系ヘッジファンドや大手系列の証券会社等の有力顧客からの受注が主要因です。システムインテグレーション売上受注高は、前年同期に大阪証券取引所のデリバティブ売買システム『J-GATE』対応の受注が集中した一方、当第1四半期では導入済システムの改編の受注が少額に留まったため減少しました。

事業セグメント別の概況は次のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでおります。

(証券ソリューション事業)

証券ソリューション事業の業績は当社の業績であり、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム等の開発及び保守が主力事業であります。

当第1四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高 772百万円 (前年同期比98.2%)

セグメント利益 75百万円 (前年同期はセグメント利益71百万円)

なお、証券ソリューション事業の売上内訳は、次のとおりであります。

	平成23年9月期 (当第1四半期)		平成24年9月期 (当第1四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
パッケージ売上	13	1.8	140	18.2	1013.4
システムインテグレーション売上	72	9.3	27	3.5	37.0
ライセンスビジネス売上	242	30.8	217	28.1	89.7
カスタマーサポート売上	456	58.1	387	50.2	84.9
合計	785	100.0	772	100.0	98.2

- ・安定収入であるランニング売上(ライセンスビジネス売上及びカスタマーサポート売上)が、証券会社のディーリング業務撤退の影響から減少しております。一方で業務効率化による工数削減を行い、その結果外注費及び人件費の削減を実現しています。
- ・新規顧客となる大手米系ヘッジファンドへの『TIGER Trading System』 Index Arbitrage サービス導入により、パッケージ売上が増加しました。
- ・東京証券取引所の新しい先物・オプション取引システム『Tdex+』が2011年11月より稼働しました。当社は、証券会社各社に提供している『TIGER Trading System』等のシステムを『Tdex+』に対応させ、それに伴うシステムインテグレーション売上が計上されました。

(投資顧問事業)

投資顧問事業の業績は、当社連結子会社であるインタートレード投資顧問株式会社の業績です。

当第1四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高 12百万円 (前年同期比61.3%)

セグメント損失 12百万円 (前年同期はセグメント損失1百万円)

証券各社のコスト削減を主要因として発生した前連結会計年度中の付加価値情報提供サービス解約の影響で、売上高及びセグメント損失が大きく悪化しました。

付加価値情報提供サービスから投資助言サービスへと売上の比重を移すための受注活動を行っていません。

(自己資金運用事業)

自己資金運用事業の業績は、当社連結子会社である株式会社トレーデックスの業績です。

当第1四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高 —

セグメント損失 18百万円

当第1四半期から開始した事業であり、主に当社グループが開発した取引手法に基づく日本の上場株式の売買（信用取引含む）を行っています。当第1四半期については運用損となったため、売上高が計上されておりません。わが国の上場企業のコンプライアンス問題等に端を発する11月の株式相場の急変の影響でセグメント損失18百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産額（負債及び純資産の合計額）は、前連結会計年度末に比べ603百万円増加し、4,182百万円となりました。平成23年10月に連結子会社トレーデクスにおいて信用取引を含む自己資金運用事業を開始したため、資産の部において営業投資有価証券及び担保差入金、負債の部において信用取引未払金及び借入有価証券が増加したことが主な要因です。

自己資本比率は56.0%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は152.5%であり、自己資金運用事業開始の影響で低下したものの、引き続き安定的な状態を確保しています。

（資産）

総資産合計4,182百万円のうち、現金及び預金と有価証券(MMF)が2,179百万円（構成比52.1%）、営業投資有価証券229百万円（構成比5.5%）、担保差入金388百万円（構成比9.3%）、のれん118百万円（構成比2.8%）となっております。のれんの大部分は平成19年9月期第3四半期に株式会社ブラディアを子会社化した際に計上されたものであり、平成24年3月まで四半期毎に117百万円の償却を行う予定です。

（負債）

負債合計1,840百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計が1,056百万円（負債及び純資産に対する構成比25.3%）を占めております。また、自己資金運用事業開始に伴い信用取引未払金が159百万円（構成比3.8%）、借入有価証券が396百万円（構成比9.5%）となりました。

（純資産）

純資産合計は2,341百万円であり、主な内訳は資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金166百万円、自己株式△95百万円となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では平成23年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりの進捗をしており、連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、新たに設立した株式会社トレーデクスを連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,377,993	1,428,274
売掛金	282,473	211,061
有価証券	860,614	750,734
営業投資有価証券	—	229,162
仕掛品	8,908	15,429
原材料及び貯蔵品	315	318
担保差入金	—	388,092
担保差入有価証券	—	159,259
繰延税金資産	75,700	75,700
その他	67,119	146,915
流動資産合計	2,673,125	3,404,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,970	56,480
減価償却累計額	△12,349	△14,526
建物及び構築物 (純額)	42,620	41,954
工具、器具及び備品	424,952	433,264
減価償却累計額	△346,584	△356,715
工具、器具及び備品 (純額)	78,367	76,549
リース資産	17,874	17,874
減価償却累計額	△3,872	△4,766
リース資産 (純額)	14,001	13,107
有形固定資産合計	134,989	131,610
無形固定資産		
ソフトウェア	67,285	60,756
のれん	235,582	118,139
その他	364	364
無形固定資産合計	303,231	179,260
投資その他の資産		
投資有価証券	291,663	294,585
繰延税金資産	41,300	41,300
その他	150,216	146,530
貸倒引当金	△15,742	△15,742
投資その他の資産合計	467,437	466,674
固定資産合計	905,659	777,545
資産合計	3,578,785	4,182,492

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	97,408	91,139
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	550,780	393,380
借入有価証券	—	396,486
信用取引未払金	—	159,712
未払法人税等	11,386	7,752
リース債務	3,636	3,671
賞与引当金	—	9,900
受注損失引当金	—	2,079
その他	76,442	102,763
流動負債合計	939,654	1,566,884
固定負債		
長期借入金	285,700	263,220
リース債務	11,441	10,510
固定負債合計	297,141	273,730
負債合計	1,236,795	1,840,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,232	1,478,232
資本剰余金	794,065	794,065
利益剰余金	165,159	166,497
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	2,342,425	2,343,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△436	△1,886
その他の包括利益累計額合計	△436	△1,886
純資産合計	2,341,989	2,341,877
負債純資産合計	3,578,785	4,182,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	788,322	772,281
売上原価	439,882	494,170
売上総利益	348,440	278,111
販売費及び一般管理費合計	348,325	324,737
営業利益又は営業損失(△)	115	△46,625
営業外収益		
受取利息	2,224	501
受取配当金	200	200
受取手数料	862	774
持分法による投資利益	8,904	4,372
その他	150	412
営業外収益合計	12,341	6,260
営業外費用		
支払利息	9,041	4,457
その他	5	—
営業外費用合計	9,047	4,457
経常利益又は経常損失(△)	3,409	△44,822
特別利益		
貸倒引当金戻入額	401	—
解約違約金	17,649	47,450
特別利益合計	18,050	47,450
特別損失		
固定資産除売却損	28	—
事務所移転費用	—	572
特別損失合計	28	572
税金等調整前四半期純利益	21,432	2,054
法人税、住民税及び事業税	423	717
法人税等合計	423	717
少数株主損益調整前四半期純利益	21,009	1,337
少数株主損失(△)	△44	—
四半期純利益	21,053	1,337

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,009	1,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△1,600
持分法適用会社に対する持分相当額	△78	150
その他の包括利益合計	△78	△1,449
四半期包括利益	20,930	△112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,975	△112
少数株主に係る四半期包括利益	△44	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	証券ソリューション事業	投資顧問事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	784,679	3,643	788,322	—	788,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,200	16,286	17,486	△17,486	—
計	785,879	19,929	805,809	△17,486	788,322
セグメント利益又は損失(△)	71,514	△1,371	70,142	△70,027	115

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△70,027千円には、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券ソリューション事業	投資顧問事業	自己資金運用事業 (注) 1	計				
売上高								
外部顧客への売上高	770,836	1,445	—	772,281	—	772,281	—	772,281
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,200	10,781	—	11,981	—	11,981	△11,981	—
計	772,036	12,226	—	784,263	—	784,263	△11,981	772,281
セグメント利益又は損失(△)	75,892	△12,305	△18,315	45,271	△10,047	35,223	△81,849	△46,625

(注) 1. 「自己資金運用事業」の区分は、当第1四半期連結累計期間より連結子会社となった株式会社トレーデクスにおいて行っている事業であり、当第1四半期連結累計期間より当該セグメントを新設しております。

2. 「その他」の区分は、主に新規事業開発に係るものであります。

3. セグメント利益又は損失の調整額△81,849千円には、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。